

発達障がい者支援センター事業実施状況報告書（平成25年度）

＜相談件数＞

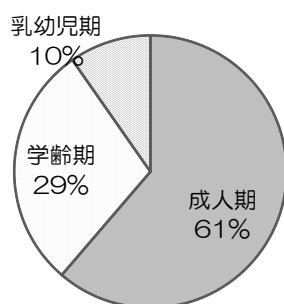
1. 年齢層別「相談・発達支援」件数（実支援人数）

	成人期	学齢期	乳幼児期	計
平成24年度	614	314	112	1040
平成25年度	581	275	92	948

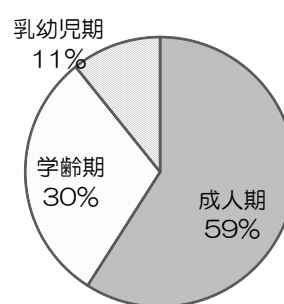
年齢層別「就労支援」件数（実支援人数）

	成人期	学齢期	乳幼児期	計
平成24年度	77	0	0	77
平成25年度	124	3	0	127

H25年度 年齢層別相談者割合



H24年度 年齢層別相談者割合



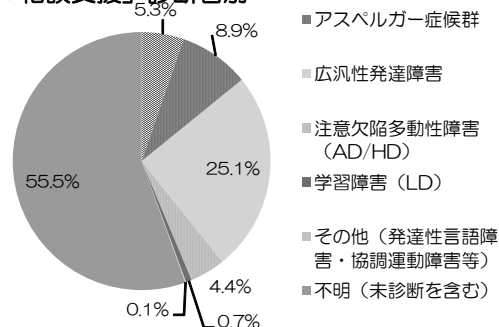
2. 相談支援診断別（実n=948人）

		H24年度		小計	H24年度
		4～7月	8～3月		
自閉症	知的障害を伴なう者	11		50	46
	知的障害を伴わない者	10	26		
	知的障害の有無不明	3			
アスペルガー症候群		39	45	84	103
広汎性発達障害	知的障害を伴なう者	42		238	237
	知的障害を伴わない者	85	102		
	知的障害の有無不明	9			
注意欠陥多動性障害（AD/HD）		16	26	42	43
学習障害（LD）		4	3	7	13
その他（発達性言語障害・協調運動障害等）		1	0	1	1
不明（未診断を含む）		193	333	526	597
合計		413	535	948	1040

※8月以降は厚労省統計指針の変更により知的障害の有無を区別しない

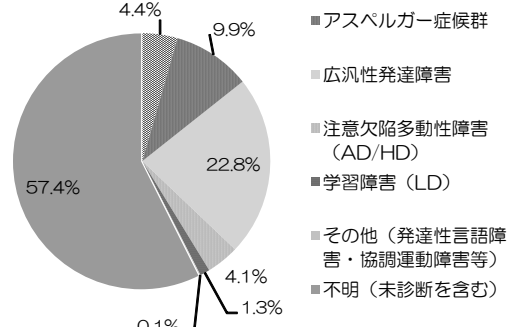
H25年度

「相談支援」診断名別



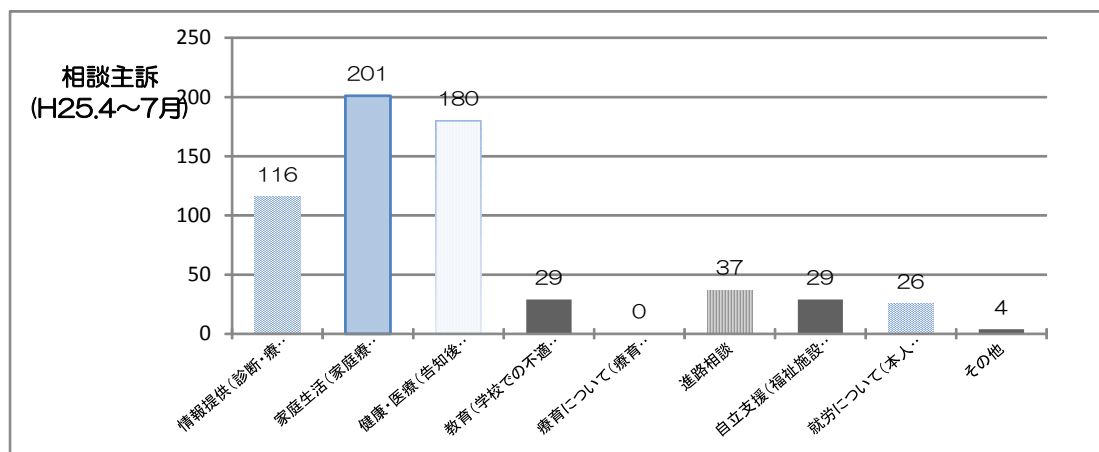
H24年度

「相談支援」診断名別



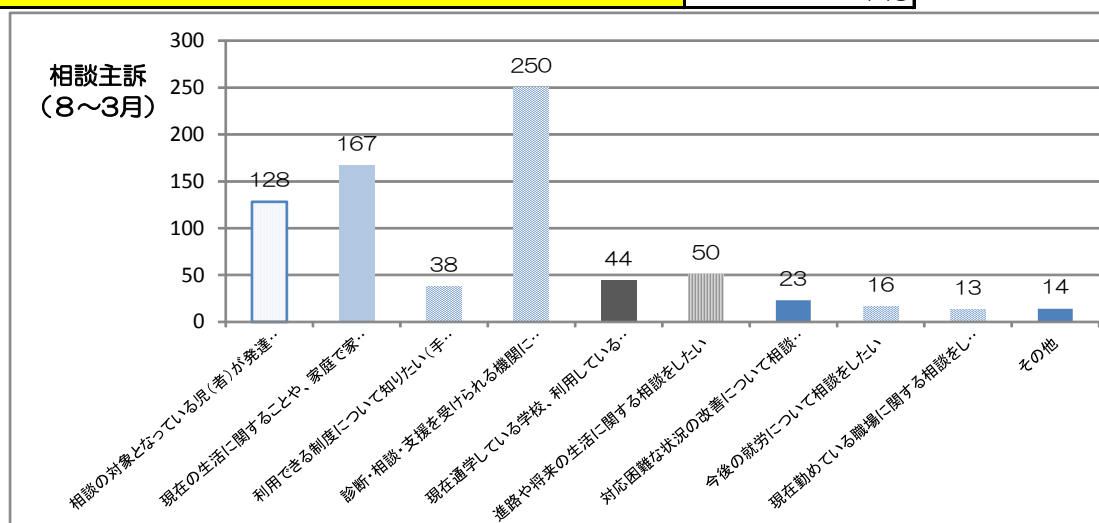
3. 相談主訴（延べ件数）

	H25.4～7月	H24.4～7月
情報提供（診断・療育等機関・施設紹介）	116	171
家庭生活（家庭療育・余暇・不応行動）	201	177
健康・医療（告知後の不安・不眠・薬物治療等）	180	147
教育（学校での不応心・教育の内容）	29	60
療育について（療育施設での療育内容・方法等）	0	6
進路相談	37	51
自立支援（福祉施設での自立訓練・不応心）	29	27
就労について（本人以外からの相談）	26	15
その他	4	14
合計	622	668



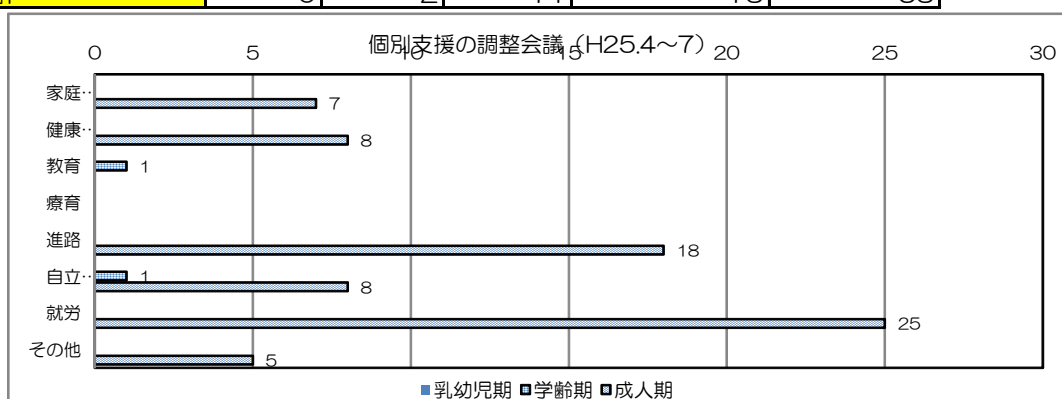
H25.8～3月（8月より項目が変わり複数選択可能となる）

相談の対象となっている児（者）が発達障害か知りたい	128
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	167
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど）	38
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	250
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	44
進路や将来の生活に関する相談をしたい	50
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど）	23
今後の就労について相談をしたい	16
現在勤めている職場に関する相談をしたい	13
その他	14
合計	743



＜個別支援の調整会議＞（本人・家族、関係機関を交えての会議）
H25.4～7

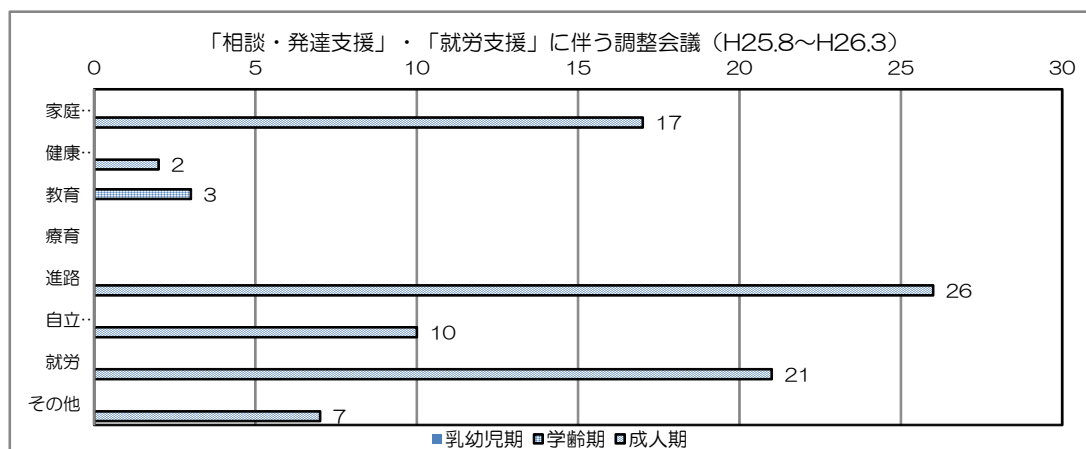
	乳幼児期	学齢期	成人期	計	H24.4～7月計
家庭生活			7	7	3
健康医療			8	8	1
教育		1		1	3
療育					
進路			18	18	10
自立支援		1	8	9	12
就労			25	25	16
その他			5	5	8
計	0	2	71	73	53



※8月から厚労省統計指針の変更により「相談・発達支援」「就労支援」に伴う「調整会議」となる
＜調整会議＞

H25.8～H26.3 （「相談・発達支援」、「就労支援」の再掲）

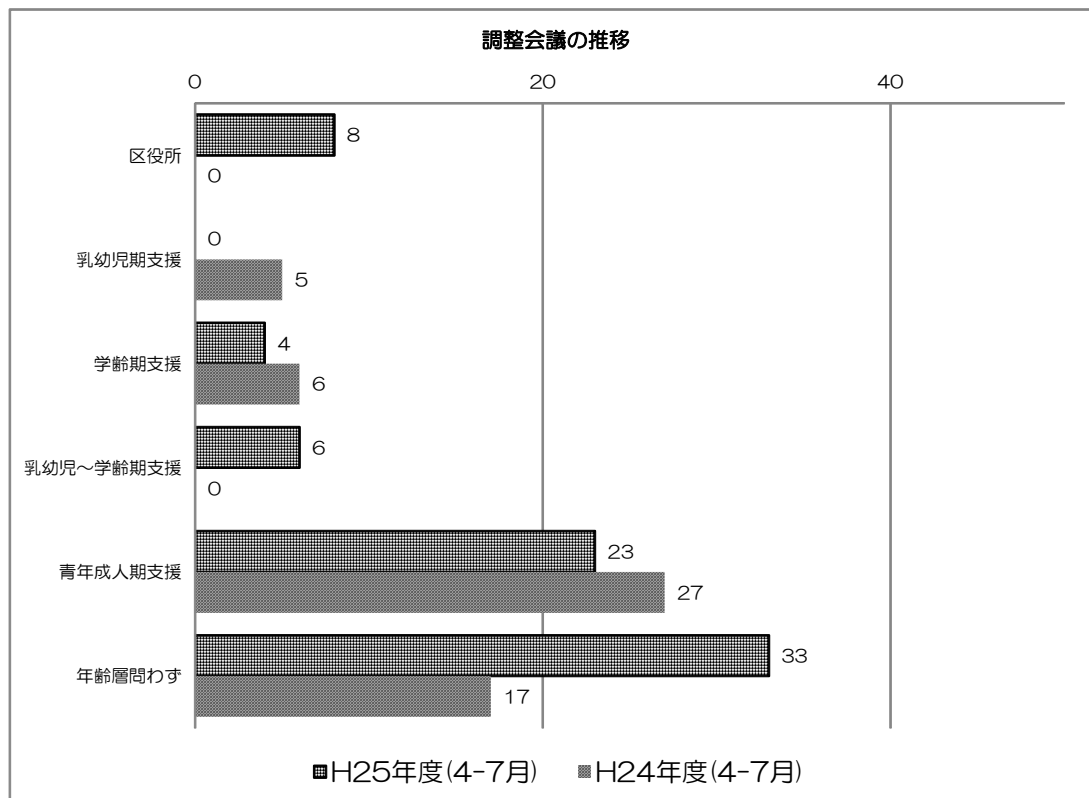
	乳幼児期	学齢期	成人期	計
家庭生活			17	17
健康医療			2	2
教育		3		3
療育				0
進路			26	26
自立支援			10	10
就労			21	21
その他			7	7
計	0	3	83	86



<調整会議> (関係機関のみ参画)

H25年度(4-7月) H24年度(4-7月)

	H25年度(4-7月)	H24年度(4-7月)
区役所	8	0
乳幼児期支援	0	5
学齢期支援	4	6
乳幼児～学齢期支援	6	0
青年成人期支援	23	27
年齢層問わず	33	17
計	74	55



※8月以降は「機関コンサルテーション」(センター相談ケースにかかる、施設からの依頼に基づく職員等への助言や支援者のみ参加する会議)、または、「講師派遣」(関係施設及び関係機関に対する普及啓発)に位置づけられる

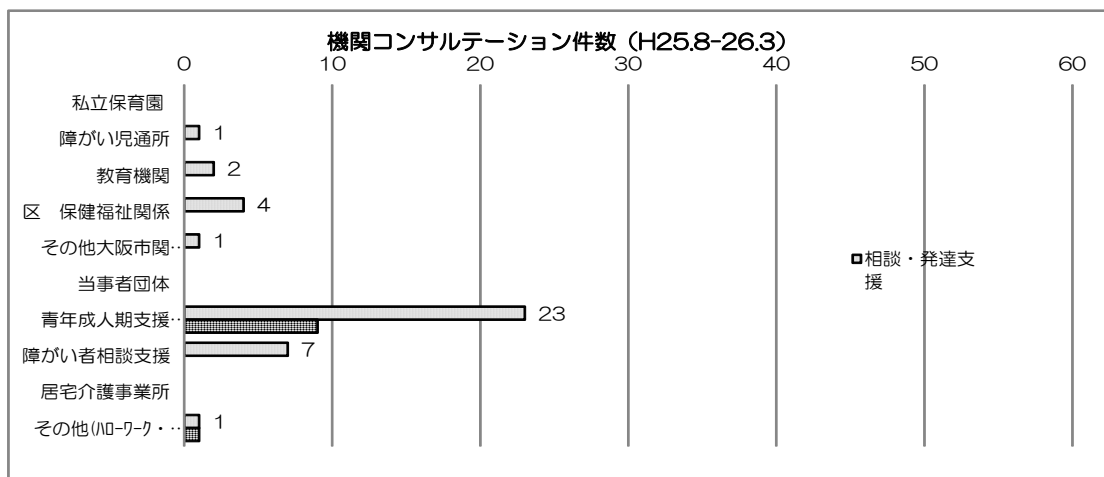
<機関コンサルテーション>

H25.4～7 (むかしでの相談等ケースに関わらず、施設からの依頼に基づく職員等への助言)	H25年度 (4-7月)	H24年度 (4-7月)
私立保育園	50	3
障がい児通所		
教育機関		7
区 保健福祉関係	4	2
その他大阪市関係		
当事者団体		
青年成人期支援機関	8	
障がい者相談支援	1	
居宅介護事業所		
その他		
計	63	12



H25.8～H26.3(センター相談ケースにかかる、施設からの依頼に基づく職員等への助言や支援者のみ参加する会議)
 (「相談・発達支援」・「就労支援」の再掲)

	相談・発達支援	就労支援
私立保育園		
障がい児通所	1	
教育機関	2	
区 保健福祉関係	4	
その他大阪市関係 (こども相談センター)	1	
当事者団体		
青年成人期支援機関	23	9
障がい者相談支援	7	
居宅介護事業所		
その他(HO-ワーク・救護施設)	1	1
計	39	10



＜普及啓発・研修＞

ﾊﾞﾄﾙ公開講座	5	主催・共催研修
ﾊﾞﾄﾙ実践報告会	1	
ﾊﾞﾄﾙフォローアップ（乳幼児期）	2	
ソーシャルスキル講座（乳幼児期）	6	
ソーシャルスキル講座（低学年）	9	
支援者養成基礎講座	2	
自閉症入浴講座	16	
成人期の自閉症基礎講座	1	
成人期支援者スキルアップ講座	3	
成人期支援者スキルアップ実践報告会	1	
ADHDスポット講座	1	
学習のつまづきについて	2	
当事者対象	1	
ブロック別基礎研修	5	講師派遣 1件は青年期教育関係
市（市民局）	4	
区	10	
市民向け	9	
社協	2	
自立支援協議会	6	
家児相（ブロック研修）	1	
当事者団体	5	
教育関係	5	
保育園・幼稚園	11	
児童福祉施設	2	
就労支援（ジョブコーチ研修講師）	2	
保護者（子育て支援講座含む）	6	
障害児支援機関	13	
青年成人期支援機関	24	
相談支援機関	3	
居宅支援機関	7	
企業	0	
	165	

上記研修講師派遣の年齢階層別	H25年度	H24年度
乳幼児期	19	25
学齢期	16	11
乳幼児～学齢期	47	1
青年・成人期	32	19
年齢層を問わない	51	4
	165	60

発達ノート発行数	25年度	累計	571
	189		

・相談支援については、前年同時期と比較すると減少はしているが、幼児期から学齢期までの相談支援の傾向として、保健福祉センターにおける相談システムが機能してきたことや、専門療育機関の利用、あるいは親支援講座の充実によりペアレント・トレーニングやソーシャルスキル講座などの受講による影響も考えられる。成人期の相談件数は相談支援の件数は減少しているが、就労支援については増加傾向にあり総数を取ると昨年度とさほど変わらない。

・相談対象者の診断別での分類においては、未診断が半数（昨年度と同水準）あり、医療機関を電話相談の時点で情報提供する事や「発達障がいかどうか知りたい」「医療機関について知りたい」（情報提供）が多い。

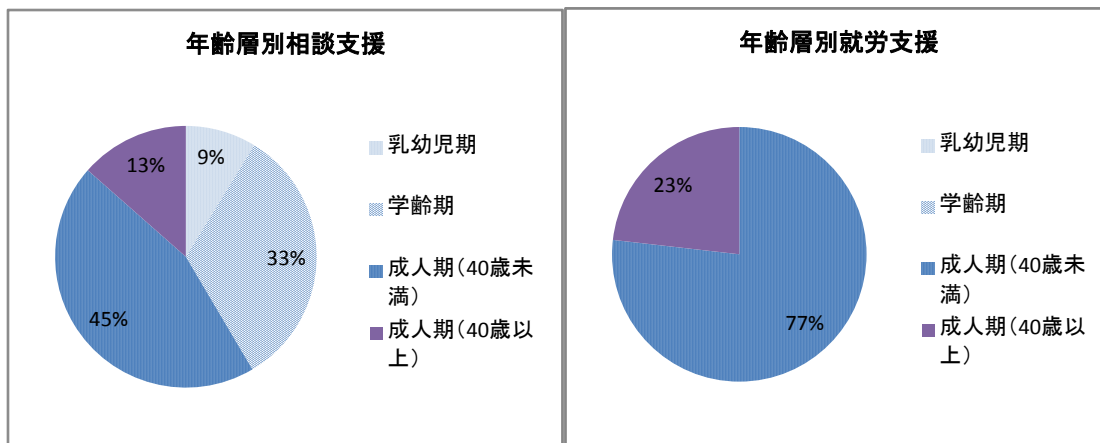
・相談主訴（主に確定診断後の方）に関しては、利用できるサービス等について知りたい（情報提供）、家庭での関わり方（「家庭生活」）が多く、単に情報提供にとどまらず、自己理解につながる特性の説明から、制度利用の具体的な方向性、自身・家族でできる工夫の助言、感情のコントロールの方法などの継続的な相談を希望する内容が多い。

・機関支援や研修・啓発については、新規事業の地域サポートコーチ事業の開始によって、私立保育園への巡回相談（機関コンサルテーション）や成人期支援機関への訪問が複数名での対応となり増加している。研修では、保護者支援（ﾊﾞﾄﾙトレーニング）、支援者対象研修（講師派遣含む）等、多岐にわたる講座を複数の地域で開催することが可能となった。

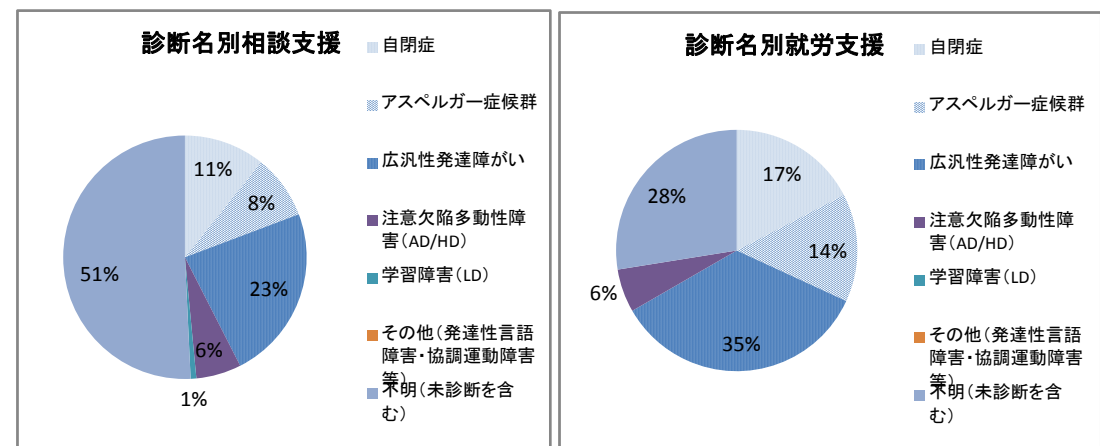
発達障がい者支援センター事業実施状況報告書（平成26年4月～7月）

<相談件数（実支援人数）>

1. 年齢別	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	35		35
学齢期	131		131
成人期（40歳未満）	180	53	233
成人期（40歳以上）	54	16	70
合計	400	69	469



2. 診断別	相談・発達	就労	小計
自閉症	43	12	55
アスペルガー症候群	34	10	44
広汎性発達障がい	93	24	117
注意欠陥多動性障害（AD/HD）	24	4	28
学習障害（LD）	3		3
その他（発達性言語障害・協調運動障害等）			
不明（未診断を含む）	203	19	222
合計	400	69	469

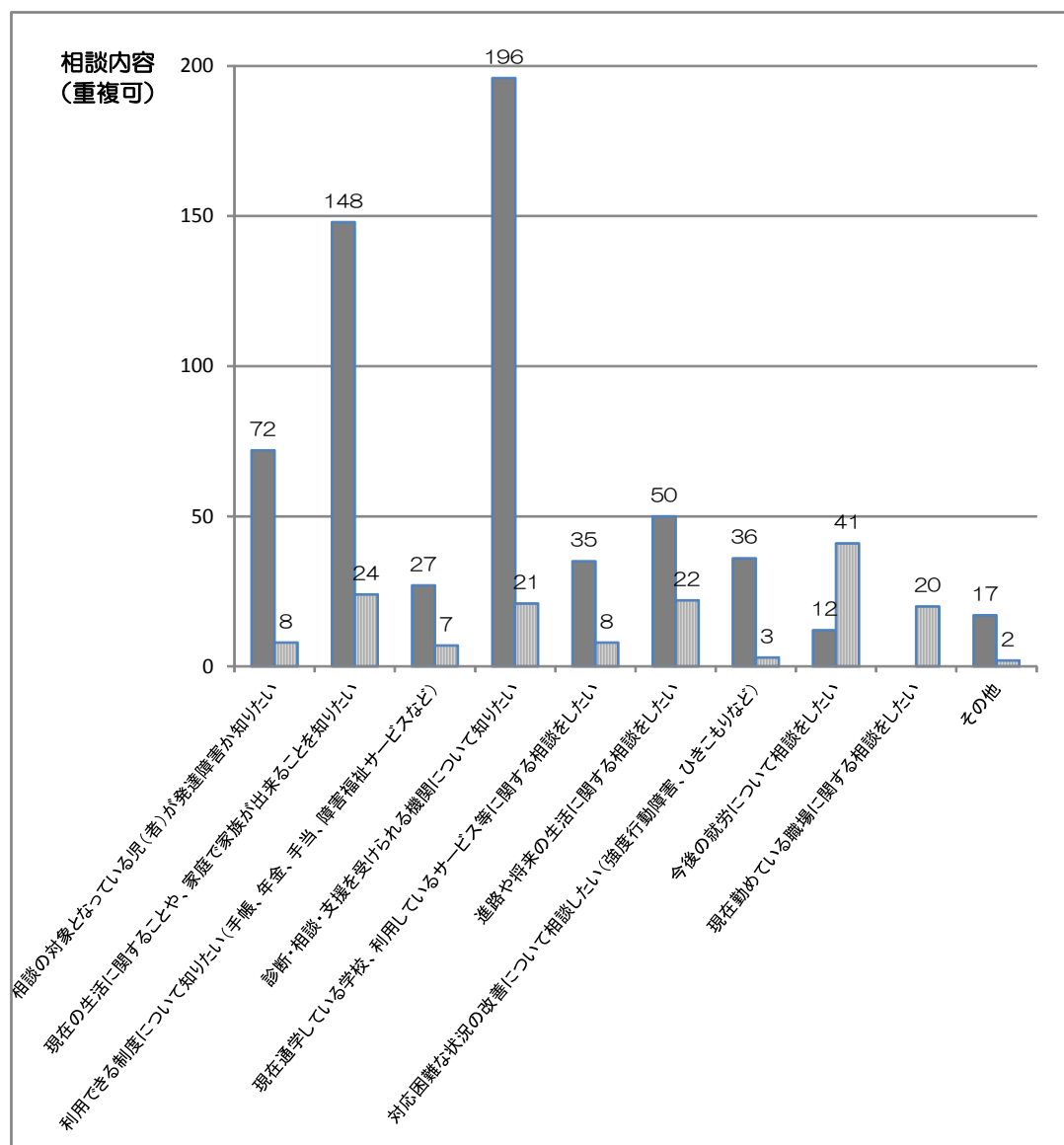


3. 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

相談内容	相談・発達	就労
相談の対象となっている児（者）が発達障害が知りたい	72	8
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	148	24
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど）	27	7
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	196	21
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	35	8
進路や将来の生活に関する相談をしたい	50	22
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど）	36	3
今後の就労について相談をしたい	12	41
現在勤めている職場に関する相談をしたい		20
その他	17	2
合計	593	156



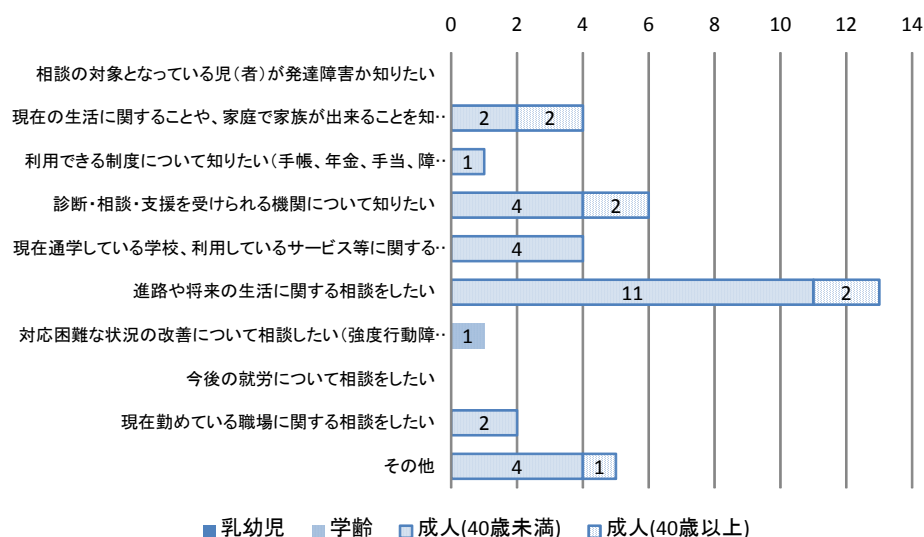
＜調整会議＞

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

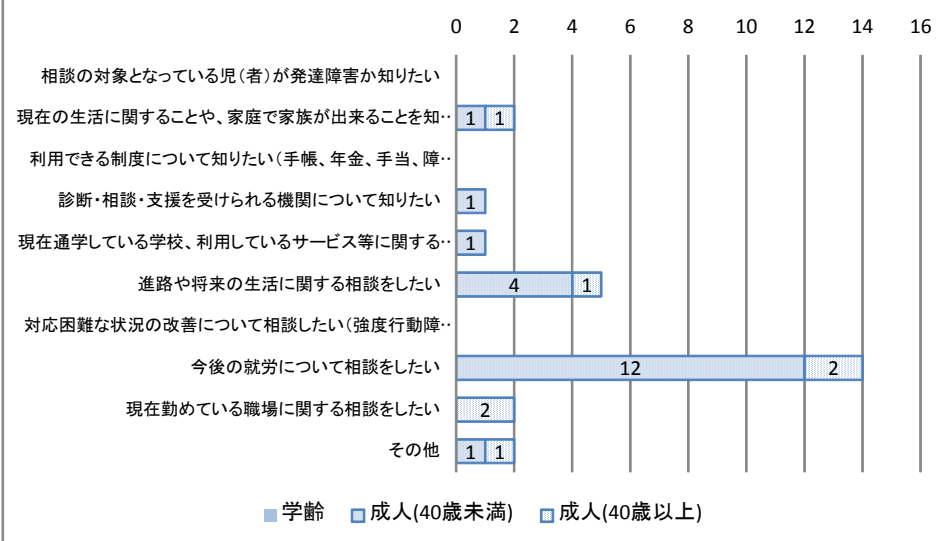
会議内容（相談内容からの再掲）

	相談・発達				就労			
	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)
相談の対象となっている児（者）が発達障害が知りたい	0	0	0	0	0	0	0	0
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	0	0	2	2	0	1	1	1
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど）	0	0	1	0	0	0	0	0
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	0	0	4	2	0	1	0	0
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	0	0	4	0	0	1	0	0
進路や将来の生活に関する相談をしたい	0	0	11	2	0	4	1	1
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど）	0	1	0	0	0	0	0	0
今後の就労について相談をしたい	0	0	0	0	0	12	2	2
現在勤めている職場に関する相談をしたい	0	0	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	4	1	0	1	1	1
合計	0	1	28	7	0	20	7	7

調整会議(相談・発達)



調整会議(就労)



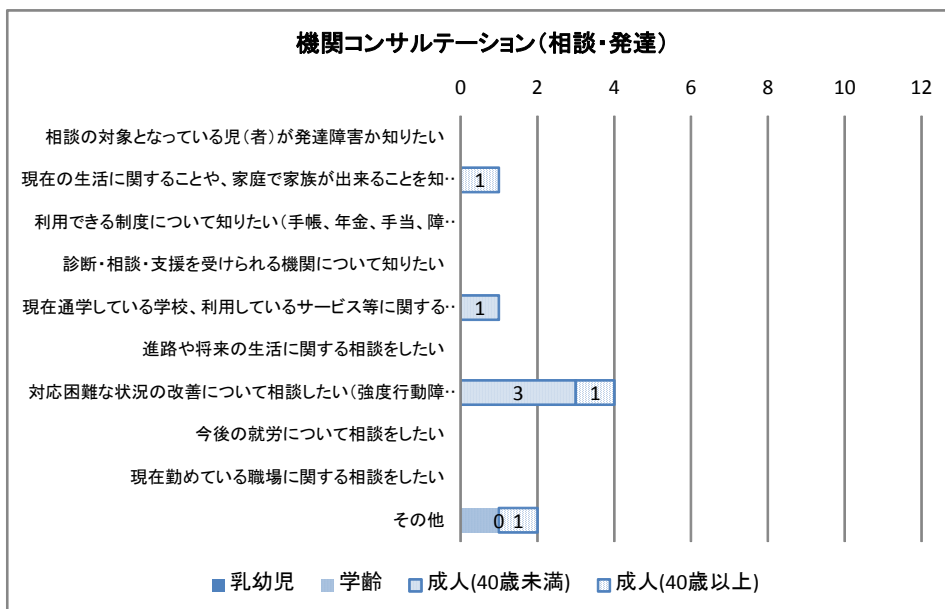
＜機関コンサルテーション＞

※「相談・発達・就労支援」に伴う施設からの依頼に基づき職員等への助言、支援者のみ会議

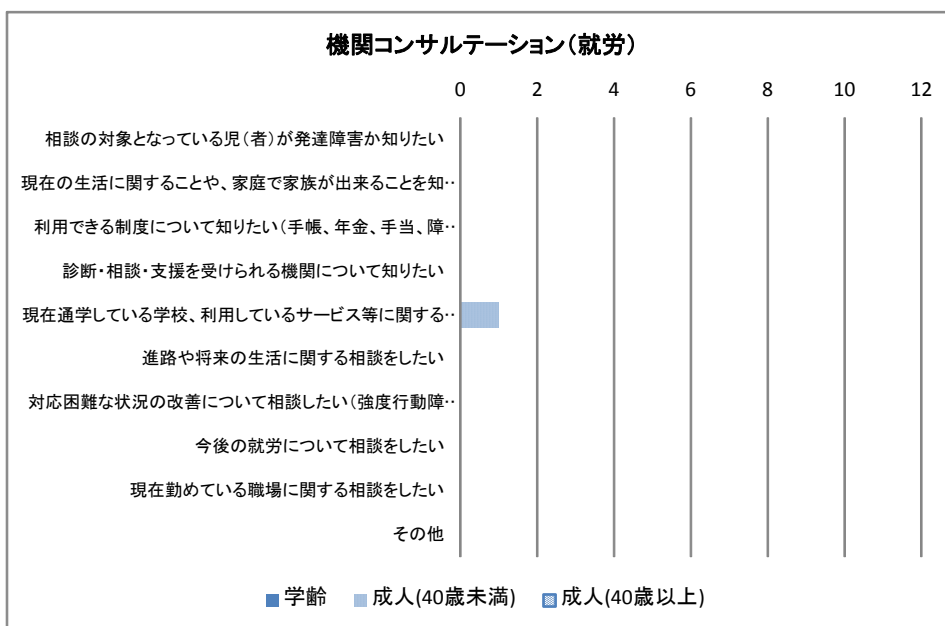
会議内容（相談内容からの再掲）

	相談・発達				就労			
	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)
相談の対象となっている児(者)が発達障害が知りたい	0	0	0	0	0	0	0	0
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	0	0	0	1	0	0	0	0
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	0	0	0	0	0	0	0	0
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	0	0	0	0	0	0	0	0
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	0	0	1	0	0	1	0	0
進路や将来の生活に関する相談をしたい	0	0	0	0	0	0	0	0
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	0	0	3	1	0	0	0	0
今後の就労について相談をしたい	0	0	0	0	0	0	0	0
現在勤めている職場に関する相談をしたい	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	1	0	0	0	0
合計	0	1	4	3	0	1	0	0

機関コンサルテーション(相談・発達)



機関コンサルテーション(就労)



<地域住民向け講演会、主催・共催研修、講師派遣>

主催・共催研修（地域住民向け講演会、支援者向け講座）

Ａ°アト公開講座	2	}	保護者・地域住民向け 57
Ａ°アト事前レクチャー	8		
Ａ°アト（乳幼児期）	21		
Ａ°アト（学齢期）	7		
Ａ°アト実践報告会			
Ａ°アトフォローアップ°（乳幼児期）	5		
ソーシャルスキル講座（乳幼児期）	3		
ソーシャルスキル講座（低学年）	3		
自閉症入°外ム講座	4		
読み書き・計算・ことば（LD）	1		
ADHDスポット講座			
市民向け			
保護者（子育て支援講座含む）	3		
当事者対象			
成人期支援者養成基礎講座	1		
成人期支援者スキルアップ講座	1		
成人期支援者スキルアップ実践報告会			
ブロック別基礎研修			
	59		

講師派遣（支援機関対象）

市（福祉局・市民局など）	2
区（保健福祉センター）	10
自立支援協議会	
社協	4
教育関係	5
保育園・幼稚園	93
児童福祉施設	
障害児支援機関	13
青年成人期支援機関	44
相談支援機関	8
居宅サービス提供機関	2
他福祉サービス（高齢者支援等含）	3
労働関係（ジョブコーチ研修講師）	1
企業	
その他	2

187

発達ノート発行数

26年度（4～7月）	28	累計	590
------------	----	----	-----

発達障がい者就業支援コーディネータ事業コラボ企画
大阪市発達障がい者支援センター・大阪市立長居障がい者スポーツセンター

成人期当事者ワークショップ実施案

1. 目的

発達障がいがある成人期の方たちが小グループで感情やそのコントロール方法、感情とからだのつながり等についてともに学び、からだを動かすことによるリラックス効果や楽しさを体験する、また、自分の得意・不得意について話し合う機会を設定することにより、就労するために大切な「健康維持」や「感情のコントロール」「自己理解」への気づきと日常での工夫実施のきっかけとすることを目指す。

2. 対象

平成 26 年度、発達障がい者就業支援コーディネータおよび発達障がい者支援センターに就労を目的に相談来所された成人期（19 歳～）の知的障がいがない発達障がい当事者で、まだ就労支援機関の利用に至っていない、もしくは離職・診断後間もない方の中でグループでの活動に参加可能な方 10 名。

3. 実施頻度・場所・スタッフ

・年間 2クール実施予定

第 1 クール： 9 月・10 月 金曜日 午後 2 時～5 時
大阪市立長居障がい者スポーツセンター

第 2 クール： 2 月・3 月 土曜日 午後 2 時～5 時
早川福祉会館

・スタッフ 長居障がい者スポーツセンター、発達障がい者支援センター、
発達障がい者就業支援 Co

4. 方法・内容

- ・方法：グループワーク（GW）＋からだを動かす体験
GW…ワークシート活用による学習、話し合い
からだを動かす体験…深呼吸、ストレッチ、リズム体操、軽スポーツなど
- ・内容：1 回目 感情学習（＋・－）、感情のコントロール、からだを動かす体験
2 回目 実施してみた感想、自己理解ワーク、からだを動かす体験

5. 効果検証

・アンケートと実施後の感想聴取